

補助金等適正化に係る外部評価(別紙)

A グループ

	補助名	意見	判定	判定に関する特記事項
1	経済振興課 朝来市サテライトオフィス等開設補助金	<ul style="list-style-type: none"> ・使用料を安くして利用率を上げてはどうか。 ・補助金の継続には、利用率等について一定の成果が必要と考える。 ・賃借料の3年間補助ということだが、4年以降で補助されないのはどうなのか。 ・補助内容がハード面に偏っているように思う。 	改正	<ul style="list-style-type: none"> ・企業のニーズに合わせ、支援内容に多様性を持たせるべき。 ・継続的な運営に資するソフト面での補助を考えるべき。
2	経済振興課 朝来市新市街地活性化補助金	<ul style="list-style-type: none"> ・卸し、小売りは利益率が上がらないのではないか。 ・進入路等、企業進出においてネックになる部分もある。 ・近年の実績がない。 ・住宅地ができて対象地域の状況が変わっている。 	廃止②	<ul style="list-style-type: none"> ・対象地域の状況が変化していることも鑑み、一旦廃止し必要に応じて新たな施策を検討するべき。
3	市民課 集団回収事業助成金	<ul style="list-style-type: none"> ・自治会が主体的に行うと、PTAと重なるという話がある。 ・回収方法を考えてみてはどうか。 ・企業（事業所等）がやりたいという場合に対象にするなど、受皿を広げてはどうか。 ・廃止はするべきではない。 	改正	<ul style="list-style-type: none"> ・2次評価のとおりリサイクル社会の推進のため、市民の意識醸成が必要である。 ・利用できる団体（企業等も含め）を増やすことを検討するべき。
4	社会福祉課 身体障害者自動車運転免許取得費補助金	<ul style="list-style-type: none"> ・10年で3件は少なすぎる。 ・利用者が少ない理由を探る必要がある。 ・周知ができないないように感じる。 ・他市との比較をするべき。 ・補助金を廃止することはできないと思う。 	改正	<ul style="list-style-type: none"> ・使用いただきためにも、身体障害者以外の障害者にも門戸をひろげるなど、内容の見直しを行う必要がある。 ・このような補助は切るのではなく広げていくべき。

B グループ

	補助名	意見	判定	判定に関する特記事項
1	農林振興課 特産物振興対策事業補助金	<ul style="list-style-type: none"> ・夜久野高原については、観光インフラに対する整備が必須と考える。 ・農業は収入が不安定のため、併せて生活支援も必要ではないか。 ・補助額が適正か見直すべき。 ・若者のニーズに合わせ、将来的には補助を増やしていきたい。 	継続	<ul style="list-style-type: none"> ・実績があるため継続すべき。 ・初期投資のかかる農業に若い人が参入する際の手助けとなるため必要である。
2	農林振興課 野菜等ハウス設置支援補助金	<ul style="list-style-type: none"> ・(補助額について)ハウスを維持するにも費用がかかる。 ・ハウスがあれば悪天候の中でも作業ができる。 ・物価高に見合った補助額となるよう見直すべきではないか。 ・ふるさと納税の収入等を活用できないか。 	継続	<ul style="list-style-type: none"> ・農家の収益拡大のために必要な補助金である。
3	子育て支援課 特定不妊治療費負担軽減助成金	<ul style="list-style-type: none"> ・治療費が嵩む中で、適正な補助額となっているか。 ・不妊治療は保険適用外のものもあるため、経済的支援は必要。 ・当補助事業単体では評価が難しいため、他市との比較が必要。 ・いい補助金だが、知らない人も多いのではないか。周知を図るべき。 	改正	<ul style="list-style-type: none"> ・社会情勢やニーズに合わせ、定期的な補助内容の見直しをする必要性からも、実施期間については設定すべき。 ・子を望む方の一助となる大切な補助金である。